

令和 5 年度利用促進事業「市内循環バス無料乗車キャンペーン」



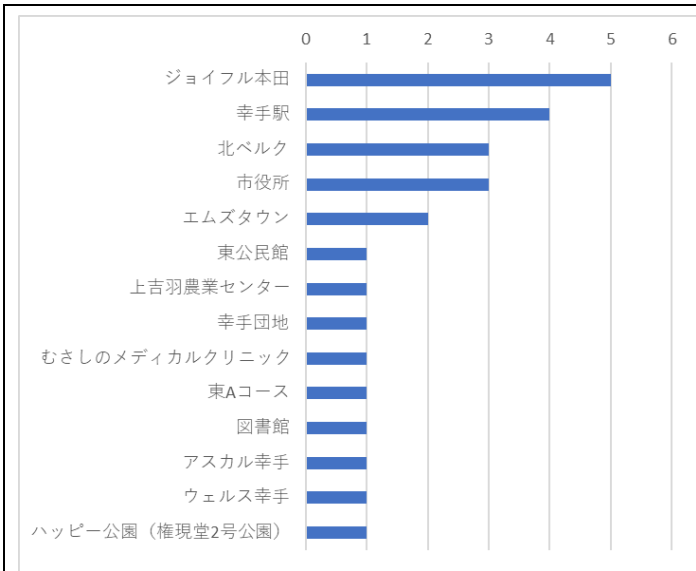
乗り乗り Week アンケート集計 12/11~12/16



期間中利用 888 人 アンケート回答 38 人

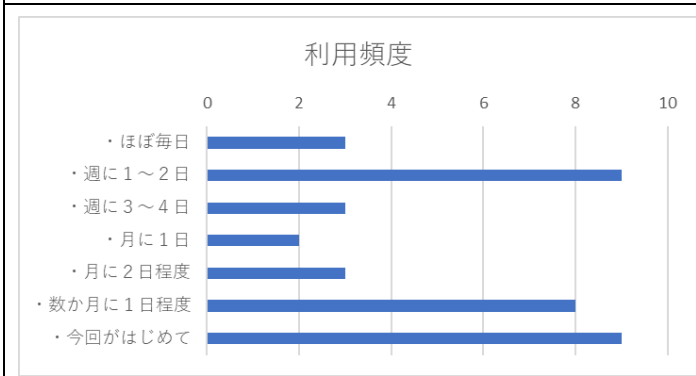
<p>利用者年齢</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>20歳未満</td><td>1</td></tr> <tr><td>20歳代</td><td>0</td></tr> <tr><td>30歳代</td><td>3</td></tr> <tr><td>40歳代</td><td>2</td></tr> <tr><td>50歳代</td><td>4</td></tr> <tr><td>60~64歳</td><td>5</td></tr> <tr><td>65~74歳</td><td>10</td></tr> <tr><td>75歳以上</td><td>14</td></tr> <tr><td>答えたくない</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	年齢	人数	20歳未満	1	20歳代	0	30歳代	3	40歳代	2	50歳代	4	60~64歳	5	65~74歳	10	75歳以上	14	答えたくない	1	<p>Q1 年齢</p> <ul style="list-style-type: none"> 75歳以上が最も多く、次いで65~74歳に利用されています。普段利用と同様で40歳代以下の利用は少なくなっています。
年齢	人数																				
20歳未満	1																				
20歳代	0																				
30歳代	3																				
40歳代	2																				
50歳代	4																				
60~64歳	5																				
65~74歳	10																				
75歳以上	14																				
答えたくない	1																				
<p>よく利用する交通手段</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>交通手段</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>自家用車</td><td>10</td></tr> <tr><td>自転車</td><td>15</td></tr> <tr><td>親族の送迎</td><td>4</td></tr> <tr><td>タクシー</td><td>9</td></tr> <tr><td>鉄道</td><td>15</td></tr> <tr><td>民間路線バス</td><td>5</td></tr> <tr><td>循環バス</td><td>3</td></tr> <tr><td>歩く</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	交通手段	人数	自家用車	10	自転車	15	親族の送迎	4	タクシー	9	鉄道	15	民間路線バス	5	循環バス	3	歩く	1	<p>Q2 よく利用する交通手段は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車が最も多く、次いで鉄道・自家用車・タクシーの順で推移していることが伺えます。民間路線バス・循環バスを利用している人もいますが、それほど多くはありません。 		
交通手段	人数																				
自家用車	10																				
自転車	15																				
親族の送迎	4																				
タクシー	9																				
鉄道	15																				
民間路線バス	5																				
循環バス	3																				
歩く	1																				
<p>無料乗車キャンペーンをどのように知ったか</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>知った方法</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>広報折込みチラシ</td><td>16</td></tr> <tr><td>市ホームページ</td><td>4</td></tr> <tr><td>SNS</td><td>1</td></tr> <tr><td>バス内ポスター</td><td>6</td></tr> <tr><td>聞いた</td><td>8</td></tr> <tr><td>新聞</td><td>1</td></tr> <tr><td>知らずに乗車</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>	知った方法	人数	広報折込みチラシ	16	市ホームページ	4	SNS	1	バス内ポスター	6	聞いた	8	新聞	1	知らずに乗車	4	<p>Q3 無料乗車キャンペーンをどのように知りましたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報折込みチラシが最も多く、次いで聞いたとなっています。普段から循環バスを利用している人は、バス内でドライバーから聞いた、ポスターで知ったとなっています。 				
知った方法	人数																				
広報折込みチラシ	16																				
市ホームページ	4																				
SNS	1																				
バス内ポスター	6																				
聞いた	8																				
新聞	1																				
知らずに乗車	4																				
<p>利用目的</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用目的</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>乗り方・道順を知る・巡回する</td><td>12</td></tr> <tr><td>買い物</td><td>12</td></tr> <tr><td>通院</td><td>9</td></tr> <tr><td>観光</td><td>6</td></tr> <tr><td>仕事・会合</td><td>5</td></tr> <tr><td>お店・楽しいスポット探し</td><td>3</td></tr> <tr><td>アスカル幸手利用</td><td>2</td></tr> <tr><td>公園で遊ぶ</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	利用目的	人数	乗り方・道順を知る・巡回する	12	買い物	12	通院	9	観光	6	仕事・会合	5	お店・楽しいスポット探し	3	アスカル幸手利用	2	公園で遊ぶ	2	<p>Q4 キャンペーンでの利用目的は？</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料ということもあり、乗り方を知る・道順を知る・市内を巡回してみるといった利用と買い物利用が多く見受けられました。また、普段使いの通院や、施設利用といった目的もありました。 		
利用目的	人数																				
乗り方・道順を知る・巡回する	12																				
買い物	12																				
通院	9																				
観光	6																				
仕事・会合	5																				
お店・楽しいスポット探し	3																				
アスカル幸手利用	2																				
公園で遊ぶ	2																				

年齢の高い人の利用が多く、普段使いの買い物・通院をはじめ、市内を巡ってみるといった使い方もありました。利用年齢からみるとインターネットを活用した情報発信ではあまり利用促進につながらないと感じ取れました。



Q5 キャンペーン中の主な目的地

- ・買い物利用で、ジョイフル本田幸手店・北ベルクが多く、買い物以外では幸手駅・幸手市役所が多くなっています。



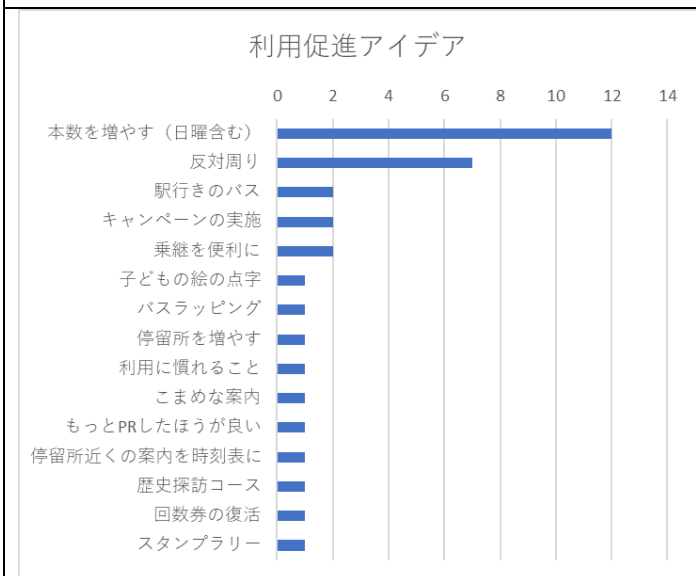
Q6 市内循環バスを利用しますか？

- ・週に1～2日、今回がはじめて、が最も多く、普段使い、無料なので乗ってみるといった利用が見られます。次いで数か月に1日程度利用されている方も多く、必要な時に利用されている傾向も見受けられました。



Q7 Q6で「今回がはじめて」と答えられた方、これから市内循環バスを使いますか？

- ・使う、がほとんどですが、使わないと回答した人もいました。



Q8 市内循環バスをより利用したくなるためのアイデアを教えてください

- ・運行本数を増やす（日曜日含め）が最も多く、反対周りを希望する声も多くなっており、駅行きを希望する声、定期的な無料乗車キャンペーンを希望する声がありました。

初めての利用を誘引することにつながった一方、普段使いの買い物・通院利用もありました。アイデアとしていただいた運行本数の増加や反対周りに対応は今後の検討課題となりますが、引き続き広報紙やバス内ポスターを活用し、利用方法を考える・利用者を増やす（育てる）ことにつながる利用促進事業を考えていきます。